

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスおりーぶ瑞穂		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 24日		2024年 11月 9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2024年 10月 24日		2024年 11月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの特性に合わせて集団での活動や、専門職による個別療育なども行っている。	専門職(OT・ST)がいるので個別療育が必要である子どもたちの療育を行うことができる。 児発管や専門職スタッフを中心に話し合いを行い、それぞれの子どもたちに合った療育を行うことができている。	引き続きスタッフ間でひとりひとりに合った療育を検討し、行っていく。
2	保護者会を開催し、保護者同士の交流や相談会を行っている。	保護者の方にどのような企画をしてほしいかアンケートをとり参考にしていく。 スタッフもできるだけ多く参加して、普段の様子を離したり、相談できる環境を作っている。	今年度はまだ行うことができていないので、開催を検討する。 ペアレントトレーニングなどの要望も保護者の方からあるので、心理士の先生などと協力して企画として取り入れていく。
3	イベントや活動が固定化しないように、毎月季節ごとのイベントなどを考えて子どもたちに楽しんでもらっている。 また、イベントの内容などはブログやSNS等で発信し、保護者の皆様にも活動内容が見えるようにしている。	イベントを考えるスタッフは固定されているが、季節のイベントでも毎年かぶらないようにするなど話し合っていて決めている。	いろいろなスタッフの意見も参考にしながら、子どもたちが喜んでくれるイベントを引き続き考えていく。 また、引き続きSNS等での発信も続けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフ不足であること。 専門職スタッフが個別療育で不在の時間は他のスタッフの負担が大きいくこと。	利用定員に対しての人員配置は満たしているが、子どもの障害の程度によってはスタッフ不足であると感じる日がある。 専門職のスタッフの個別療育は30分単位だが、連続してある場合があるので、その時担当の子どもを見ることができない。	スタッフの募集は引き続きかけつつ、専門の個別療育をする時間を工夫したり、利用人数の調整を行うなどする。
2	別の児童発達支援から上がってくる子どもや、就労支援に移行する子どもの情報共有を行っていない。	同じ系列内であれば情報共有は行うことができるが、別の事業所となると難しいところがある。	要望があればアセスメントシートの作成を行うなど、児童発達支援や就労支援などの連携を行う。
3	支援を行う子どもたちの話し合いなどが、全員そろって毎日行えず月に1回の会議などで行っていない。 毎日の話し合いは行っていない。	短時間のパート職員などは午前中などの話し合いに参加できず、いつも決まったスタッフ同士でしか話し合いができていない。	どうしてもスタッフが全員そろっての話し合いは難しいので、話し合った内容をスタッフ間で共有できるように工夫を行う。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	おりーぶ瑞穂		公表日		R6年 12月 26日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	子どもの関係性も考え、スペースを分けている。	学習の場とリラックスできる場の区別は、その場しのぎでなく必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置は適切であるか。	4	5	相性を考えて配置している。	日によって余裕のあるときとないときがある。専門職が個別療育で抜ける時間の療育が厳しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	子どもが各自何をするか考えることができる配置になっていると思う。	低身長児や不慣れ児に対しての環境は適切ではないと思う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0	毎日掃除、おもちゃなどの消毒を行い、清潔を保つ努力をしている。	引き続き行い、過ごしやすい環境づくりに努めていく。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	1	身体を動かしたい子や、落ち着いて勉強したい子などで部屋を分けている。	クールダウン用の部屋があるわけではない。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	職員に対し、参画の呼びかけを行っている。	引き続き、行っていく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	アンケートの集計結果をもとに改善するべき項目などを話し合っている。	引き続き保護者様からの意見も取り入れてより良い療育につなげていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	月に1回職員会議を開いている。	引き続き、行っていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	定期的な実地指導が入っている。	実地指導に向けての準備などは主に常勤のスタッフがやっているため、行われていることを知らないスタッフが多い。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	他事業所などが主催する研修等に参加している。	参加するスタッフが固定されている。参加後のスタッフ間での共有を改めて行う。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	保護者に対してできるだけ簡易な言葉でわかりやすい計画書を作成し、目標を共有できるようにしている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成しているか。	9	0	保護者と連絡をとり、デイにおける現在の状況・課題を伝えたくうえでニーズを細かく聴取し計画作成している。	今後も保護者様へのヒアリングやスタッフ間での話し合いを行い、わかりやすい個別支援計画書の作成に努める。
	13	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2	児発管、担当指導員、セラピストで会議の場を設けて計画を作成している。	
	14	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2	サポートブックにファイリングしてスタッフ間で共有している。	常勤スタッフは個別支援計画の作成時に目を通しているが、完成後全スタッフがサポートブックを見ているかは不明。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	発達検査や知能検査を外部などで受けた場合は、検査結果を共有してもらっている。	引き続き、行っていく。
	16	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）には、児童発達支援（放課後等デイサービス）ガイドラインの「児童発達支援（放課後等デイサービス）の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	スタッフ間で話し合い、それぞれの子どもの段階に合った支援目標、支援内容を設定している。	引き続き、それぞれの子どもに合った支援を考えて療育を行っていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	常勤職員で考えている。	イベントを考える人が固定されている。パートのスタッフさんに意見を聞くこともできる。

の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	イベントは毎月季節感があり子どもたちも楽しんでるように感じる。	引き続き、子どもたちが喜んでくれるようなイベントを企画していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	8	1	OTやSTなどの個別療育や、イベントなどの集団活動についての項目も個別支援計画に取り入れている。	引き続き、行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2	気になることがある日などは職員間で話し合いを行う。	必ず打ち合わせをできているわけではない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	3		日々の出来事に対しては情報交換ができていないことがある。毎日では打ち合わせしていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	連絡帳に記載し、スキャンして保存している。	引き続き、行っていく。 個人情報の取り扱いに留意する。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0	半年に1度モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている。	引き続き、行っていく。
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	9	0	すべては難しいが、複数組み合わせる支援を行っている。	引き続き、4つの基本活動を確認しながら支援を行っている。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0	何をして遊ぶかや、おやつ選択など、子どもたちが自分自身で選択できるような環境にしている。	引き続き、子どもたちが自己選択できるような環境づくりを行っている。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	児発管を中心に、その子供の担当になることが多い職員が参画している。	引き続き、行っていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	1	協力医療機関、市の子ども福祉課などと連携している。	引き続き、連携をとれる体制をつくりいつでも相談等できるようにしておく。
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	モニタリング等で地域の発達支援センターと連携をとっている。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	2	フリマ等で交流を感じる。	地域の子どもたちとの交流はあまりない。
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	療育の場で気になったことは連絡帳や電話などで伝えている。	引き続き、行っていく。
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	保護者会を行っている。	最近では保護者会を行うことができていないので、行う機会を作る。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0	保護者様からの情報共有などで下校時間や連絡事項を確認している。	引き続き、行っていく。	
38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	児童発達からそのまま上がってくる子どもは情報共有を行っている。	新規で入所してくる子どもは保護者からのサポートブックでしか把握できていない。	

	39	【放デイのみ】 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	おりべの就労にあがる子どもに関しては情報を提供している。	外部にいく子どもは情報共有できていない。
	40	【放デイのみ】 (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	5	市で行われていることは把握している。	今まで参加する機会がなかったため、機会があれば参加したい。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	入所時、または運営規定や重要事項説明書の内容に変更があった場合などに適宜説明を行っている。	引き続き、丁寧な説明を行っていく。
	42	児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	個別支援計画作成の際には必ず保護者様へのモニタリングを行い、ニーズやホープを聞くようにしている。	引き続き、子どもや保護者の意向を確認する機会を作っていく。
	43	「児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	送迎時や電話にて説明を行い、同意のサインをいただいている。	面談等の要望があれば実施していく。
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	定期的ではないが、何か起きると相談など行っている。	保護者会等で定期的に相談などできる機会を作っていく。
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10	0	保護者会を開催している。	最近では保護者会を開催できていないので、行う機会を作る。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	苦情は今のところないが、あった場合の体制は整っている。 相談等については柔軟に対応している。	引き続き、体制の整備と周知を行っていく。
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	0	毎月、ブログや行事予定を発信している。 会社がSNSなど運営している。	引き続き、行っていく。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	個人情報は鍵付きの棚で保管している。	引き続き、個人情報の流出にはきをつけていく。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	わかりやすい言葉や絵などを用いるなどの工夫を行っている。	引き続き、工夫しながら意思の疎通や情報伝達を行っていく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	フリマ等で交流を感じる。	フリマ以外で地域住民との交流を図る機会があれば作っていきたい。
51	【放デイのみ】 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0	電話や連絡帳、手紙等で対応を行っている。 また、ニーズがあれば心理士との面談も可能である。	引き続き、行っていく。	
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	マニュアルを保護者に配布している。 年に数回避難訓練等も行っている。	引き続き、行っていく。
	53	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0	BCPを策定し、イベント等で避難訓練を実施している。	こまめにBCPの見直しを行い、引き続き避難訓練を行っていく。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	服薬のある子どもやてんかんのある子ども等をリストアップし、わかりやすいところに提示している。	引き続き、スタッフ間で確認を行っていく。
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0	アレルギーについてもリストを作成し、おやつを保管している場所等にわかりやすく提示している。	引き続き、スタッフ間で確認を行っていく。
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0	地震や台風時などの対応をマニュアル化し、避難訓練を行うなどして安全管理を行っている。	引き続き、安全管理を十分に行い支援をしていく。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	0	マニュアルを保護者に配布し、緊急時はメールでやりとりできるようにしている。	定期的な周知を行い、保護者の方に安心してもらう。
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	ヒヤリハットや事故報告書などは必ず事業所内で共有し、スタッフ間で再発防止に向けた話し合いを行っている。	引き続き、再発防止に努めていく。
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	年に数回、会社が虐待の研修を開催しており、全スタッフが参加している。	引き続き研修に参加し、虐待を防止していく。

60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	10	0	個別支援計画書に身体拘束についての項目を記載し、同意のサインをいただいている。	引き続き個別支援計画書にて保護者の理解を得ていく。
----	--	----	---	---	---------------------------